

元気な森へNPOが間伐作業

県外の工務店関係者も参加



原村の中新田区の区有林
で間伐材を運ぶ人たち

原村

原村の村民有志らでつくるNPO法人「エコラ倶楽部」は六日、村内の中新田区の区有林で間伐作業を始めた。間伐材のうち利用が可能なものは住宅用建材として販売、その収益でさらに間伐を進める計画だ。今回は二・二杉を対象に十一日まで作業を続ける。

同法人は、一昨年夏に中新田区と区有林整備の契約を結んだ。間伐作業は二年目。

この日は、趣旨に賛同する都内や兵庫県などの工務店関係者を含む約二十人が参加し

た。ヘルメットや作業着を身に着けた十一・六十代の参加者たちは、カラマツをチェーンソーで伐採したり、木材を運んだりと約四時間汗を流した。現場には、枝木などを破碎してチップにする機械や、ワイヤで結んだ木を引く機械も登場した。

区有林は十五杉あり、広葉樹と針葉樹の混交林として整備していく。間伐は五年間で七・五杉を終える予定だ。

同法人の事務局担当の大井みのりさんは「全員で協力して間伐を進め、元気な森を作っていきたい」と話している。